

薬物乱用・薬の誤った使用



薬物乱用とは？

薬物や薬品を本来の医療目的からはずれて使ったり、医療目的でない薬物を不正に使ったりすること。覚醒剤・コカイン・LSD・MDMA・大麻などがあります。

★危険ドラッグ

法の網をくぐりぬけるために、「お香」「バスソルト」「ハーブ」「アロマ」など、一見ただけでは人体摂取用と思われないよう目的を偽装して販売されているものもあります。

危険ドラッグには、既に規制されている麻薬や覚醒剤の化学構造を少しだけ変えたような物質が含まれており、体への影響は麻薬や覚せい剤とかわりません。また、実際はどんな物質が含まれているかわからないものもあり、死亡に至る場合があるなど更に危険性が高いものがあります。

⚠️ **薬物の所持、譲渡は犯罪です。法律によって厳しく罰せられます。**

※市販薬・処方薬でも、本来の規定量以上の使用は副作用により健康に悪影響を与える危険があります。

対策

- ・禁止薬物は買わない。勧められても断る。
- ・市販薬・処方薬は決められた用法を守る。
(市販薬や処方薬でわからない事がある場合には、薬剤師や処方した医師に相談しましょう。)
- ・どうしても薬物乱用したくなるほどつらい場合には、下記の相談窓口に連絡をする。
(もし、薬物乱用をしてしまった場合にも、まずは下記の相談窓口に連絡をしましょう。)

薬物の依存性・耐性

薬物には、何度でも繰り返して使用したくなる「依存性」と、使用を繰り返していくうちに、それまでの量では物足りなくなる「耐性」という性質を持っています。

そのため、市販薬・処方薬でも用量を守る必要があり、危険ドラッグではないか注意深く確認し使用しないこと、違法なものは使用しないことが重要です。

薬物の身体への影響

○薬物により身体への影響は様々です。特に乱用をした場合の影響は以下を参照してください。

https://dapc.or.jp/kiso/04_effect.html

○薬物による「中毒」という視点では、大きく分けて2種類あります。

急性中毒：一度に大量の薬物を乱用したときに起こり、死亡するケースもあります。

慢性中毒：何度か乱用することで脳や内臓を壊します。少量でも体中が破壊される危険もあります。
体力が低下することによって、寄生虫による病気や伝染病にかかりやすくなります。

薬物乱用防止相談窓口

○ご家族の薬物問題でお困りの方

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iyakuhin/yakubuturanyou/other/kazoku_doikuhon.html

相談先一覧：<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/001079879.pdf>

○薬物乱用相談窓口

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/madoguchi.html>

※相談窓口についての詳細については、各都道府県 HP を確認すること。



輸入禁止薬物

個人輸入する海外の医薬品の中には、粗悪品や模造品が確認されています。

また、海外製のサプリから医薬品成分が検出され健康被害が発生した事例や、大麻や危険ドラッグが入ったものを知らず知らずのうちに手にしてしまう危険もあります。

以下のサイトも併せて確認をしてください。なお、一人で悩まず専門の窓口にすぐ相談しましょう。

○厚生労働省：薬の個人輸入にはリスクもついてくる

https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/Kojinyunyu2023__leaflet_ol.pdf

○あやしいヤクブツ連絡ネット 相談窓口

<https://www.yakubutsu.mhlw.go.jp/>

TEL：03-5542-1865 ※月曜日～金曜日（祝日を除く） 9:30～16:00

引用

・東京都保健医療局

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/no_drugs/

・麻薬・覚せい剤乱用防止センター

https://dapc.or.jp/kiso/01_what.html

・厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iyakuhin/yakubuturanyou/index.html

・警視庁

<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/drug/drug/index.html>

もっと日本を。もっと世界へ。